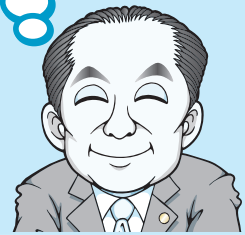




# 町長の一言



## 子供の日に思ったこと

新聞紙で折った兜を頭に  
乗せて、大きな声で  
「鯉のぼり」の歌を、大  
の男が数十人で唱いまし  
た。

これは笠間陶炎祭で5  
月5日に行われた、小学  
生土面コンクールの表彰  
式のオープニングセレモ  
ニーのひとつまで、私も  
3番までこの歌を唱った  
のは初めてでした。

このコンクールは、今  
まで西茨城郡区域内での  
学校参加だったものが、  
今年から城里町内全小学  
校も参加して、全出品者  
の作品が展示されていま  
した。その中の優秀作品  
が表彰されましたが、子  
供たちが自分で物を作  
り、土面の中にその思い

を表現するという事で、  
大変素晴らしいことだと  
思いました。

ところで、歌を唱って  
いて、最近新しい鯉のぼ  
りの竿を見る事が少なく  
なって農村風景も寂しい  
ものになってきたなど感  
じたところですよ。子供の  
日の歌に「背いくらべ」  
があります、これも、  
ちまき食べ食べ測つてく  
れる兄さんがいないなど  
とあわせて、少子化を反  
映している象徴でもある  
のかも知れません。

町では、平成18年度よ  
り、第3子以降の方に、  
出産・育児奨励金制度を  
設けました。少しでも少  
子化対策の一助になれば  
と思っています。

## 文芸しるさと

### 俳句

視力やや衰へてより桜好き  
飯田 勇一  
ぜんまいを採る人数多声響き  
山崎 正行  
杉山に真昼の暗さ蝸牛  
和田 範子  
鯉のぼり平らに残る靴のあと  
竹内 幸子  
田を植えて先づ夕映えに拍手され  
鯉 潤 寿美恵  
そこはかと漂よう香気夜の桜  
今瀬 多代美  
青梅の触れ合ふ程に太りけり  
飯村 昭子  
連休を待ち春の田のさざ波す  
仲田 こう  
春耕や畑に靴のよく沈み  
田所 厚子  
藤の雨さらりと上がり娘のえくぼ  
高橋 芦江  
里山の冷気を分けて友とをり  
阿久津 あい子  
雉の子の羽音で母に応へけり  
仲田 まちゑ  
木の芽山ゆったり眺め湯治風呂  
飯村 愛子  
花祭記憶の中の下駄赤し  
いそべ きよ  
枝の揺れ一瞬激し日雷  
瀬谷 博子

### 短歌

野球てふ言葉作りし子規居士も  
黄泉にて世界一を喜ぶるむか  
藤原 千代

如野みち「土筆の坊や」目覚める  
て陽は燦爛と照り微風だになし  
青柳 京子  
しだれ梅ピンクの花の咲き初め  
て庭はほのぼのと匂ふ春来ぬ  
秋山 愛子  
輝ける時経しいちやう樹ねざら  
ひて其の刈り口に酒そそぎやる  
大森 久子  
樹木にも限られし命あるもの  
と庭の古木にわが身重ねる  
佐川 あや

オカリナの音色静かに聞きにつ  
つ雪の「秋保」の温泉に浸かる  
杉山 みちこ  
エブロンポケットの買物メモ  
紙より時に拙きうたも生れくる  
渡辺 千紗子  
家守り議員の夫を支え二十年  
陰の力の妻の座重し  
宮本 ふみ江  
栗古木の暮れに倒せるを片付く  
る夫のチェンソーは春天に響る  
所 美恵子  
バックよりラベンダーのハンカチ  
出でくれば北海の旅の思ひ出甦る  
山形 式妙  
春めいて野山の色も初夏らし  
く朝日を浴びて春は去り行く  
市川 義子  
水温みおたまじやくしを追い得い  
る子等の手ふくりあちらこちらと  
岩下 通子  
眠れない夜のつづく時旦那様  
想い出しては又眠れない  
富田 欽子  
針の手を休めて見れば庭先の  
ふじの花匂う紫の濃し  
岩下 美知野

やわらかい日射しを浴びて若芽ふ  
くこぶしにぎりてわらびのぞきぬ  
阿良山 ウメノ

わかばもゆ文化歴史の発会式  
良き仲間集い盛會に門出  
阿久津 尚一  
探り握る手の感触の心地よし  
大きいじゃがいもぎる一杯に  
憶効なるままに追肥を怠りて  
育ち小さき長芋を揺る  
薄井 ひろ  
咲きみつるさくららの花の指すま  
まに去りにし人を思い佇ちいる  
枝 不美  
ひとり去り一人逝きたる花桐  
会淋しさ越えて歌作りゆかむ  
山のだりを覆ひ尽くし咲く「カタ  
クリ」の花むらさきは心にしむる  
川上 千代子  
散りしきる花びら乗せたる鴨の  
群れ輪を描きつつ水面流れ行く  
島 愛子  
芽吹きたる柳を映す池の辺の  
浄土に鎮もり建つ阿弥陀堂  
多田 志保子  
ただうれし離れ住みいる男孫  
二人大学院に合格したれば  
坪井 さよ子  
Tシャツの柄を呼び名に「たいやき  
く」と吾息を覚えていたる駄菓子屋  
萩谷 登喜子  
忙しき還暦前にて一休みぞ今  
後はおだやか人生送らむ  
和知 美智子  
友待つとふ長塚節の歌碑読め  
ば那珂川畔に佇てる徳ばる  
富田 佐智子

怖いのは車マンション通学路  
山本 隆荘  
私のみ此の世を泳ぐ鯉のぼり  
加藤 鉦好

### 川柳

怖いのは車マンション通学路  
山本 隆荘  
私のみ此の世を泳ぐ鯉のぼり  
加藤 鉦好